

令和元年度 北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式 概要

1 趣 旨

農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して経営・社会参画の優良な取組を行っている個人や団体を表彰し、その活動事例を広く紹介することにより、北陸地域における男女共同参画の一層の機運の醸成と、女性による農林水産業・農山漁村の活性化の取組を促進することを目的に開催するもの。

2 開催日時 令和元年 11 月 29 日 (金) 13:30~14:00

3 開催場所 北陸農政局 1 階 共用大会議室 (金沢広坂合同庁舎)

4 主 催 農林水産省北陸農政局

5 内 容

令和元年度 北陸農政局男女共同参画優良事例表彰式

◆表彰式では、北陸農政局長から 3 名、1 団体へ北陸農政局長賞が授与されました。

式次第

- (1) 開式の辞
- (2) 受賞事例紹介
- (3) 北陸農政局長賞授与
- (4) 局長式辞
- (5) 閉式の辞



【祝辞を述べる森澤北陸農政局長】

<北陸農政局長賞受賞者の活動紹介>

経営参画部門 個人 さかい みゆき 坂井 美幸 氏 (新潟県新潟市)

畜産大学で学んだ知識や、酪農ヘルパーとしての勤務経験を活かし、乳牛の健康管理や畜舎環境の改善に取り組むなど、夫とともにおいしい生乳生産に取り組んでいる。

「子供達に安心して食べてもらえる乳製品を届けたい」との思いから、チーズ製造・販売を開始する。

自家生乳で6次産業化に取組み、売上を伸ばすことで経営の多角化を進め、安定的な酪農経営に大きく貢献している。

チーズ作りをとおし、消費者への酪農の魅力発信に精力的に取り組んでいる。

経営参画部門 個人 ^{ありさわ みちよ} 有澤 美千代 氏（富山県富山市）

ハーブ苗の生産・販売とともにラベンダーの摘み取り体験ができる農園「ハーブファーム富夢創野」の共同経営者。

夫とともにハーブ苗の生産・販売作業を行う一方、経営の多角化として農園内にカフェを開設し、その運営を担当する。来園者にハーブの栽培から日常生活への取り入れ方など、ハーブとの関わり方を丁寧に説明するなど、専門知識を活かした消費者とのコミュニケーションで経営が発展した先進的な事例といえる。

経営参画部門 個人 ^{ひら みゆき} 平 美由記 氏（石川県鳳珠郡能登町）

父親の他界によりブルーベリー農園を継承する。父から継いだ取引先に加え、生食用果実の新たな販路を開拓するとともに、規格外果実を一次加工し、加工品原材料として県内食品企業へ販売を始める。

地域の生産者が廃棄する規格外果実を仕入れ、加工品原材料として販売、地域のブルーベリー生産者の収入増加に繋げている。県内企業や大学など様々な分野と連携し、ハンドクリームや染物など、ブルーベリーを原料とした食品以外の商品も開発するなど、新たな需要拡大に精力的に取り組んでいる。

経営参画部門 団体 ^{ままや} 有限会社 おもちの母屋（福井県今立郡池田町）

「池田町もち・おこわ料理組合」の有志 2 名が立ち上げた農家レストラン。池田町の各種行事でふるまわれる、おこわや雑煮などの行事食や日常食を手軽に食べることができる。また、もち加工品を製造・販売し幅広く池田町のもち文化を発信している。

食材は、もち米から野菜まで地元産を用いた地産地消であり、また、もち文化を子供達に伝える食育活動にも取り組むなど、地域の活性化を牽引している。女性グループの起業活動における先進的な事例といえる。



【後方(左から)瀧澤経営・事業支援部長、平岩北陸農政局次長、小林北陸農政局次長、長谷井経営支援課長】
【前方(左から)坂井美幸氏、有澤美千代氏、森澤北陸農政局長、平美由記氏、有限会社 おもちの母屋 代表 山口典子氏】